



2021年度 TJUP 4校共同 公開講座

次のパンデミックに備える！

日米の比較で分かる新型コロナからの教訓

講師：日本医療科学大学 准教授 天野修司

【開催趣旨】

世界に未曾有の大惨事をもたらした新型コロナウイルス。特に米国では、2021年8月18日現在、新型コロナウイルスによる感染者数と死者数が、どちらも世界最多を記録しています。一方で、米国は、ワクチンなどの医薬品の研究開発においては、世界をリードする役割を担っています。米国の医療政策の何が良くて、何が悪かったのか。日本と比較することで、その答えが見えてきます。本講座では、そのような日米の比較を通じて、今回のパンデミックから得られる教訓について解説したいと思います。

2021年9月11日(土) 14:00-15:00

Zoomによるオンライン開催

【申込方法】 事前登録制となります。下記 URL または 2次元バーコードからお申込みください。

URL: <https://forms.gle/L4CNtHFTwARR2NXw9>



【申込締切】 2021年9月6日(月)

【参加費】 無料

【定員】 150名

【お問合せ】 日本医療科学大学 学務課

TEL : 049-298-6306 MAIL : nims-jimu@nims.ac.jp

講師プロフィール

2009年ジョージア工科大学(米国)国際関係科学修士課程修了。その後、慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所研究員などを経て、2014年より日本医療科学大学助教、2019年より准教授。バイオセキュリティの分野において、数多くの研究業績を有する。また、外務省からの依頼を受けて、ASEAN地域フォーラムのワークショップや生物兵器禁止条約締約国会合に参加するなど専門家として活躍している。

本講座について

埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP)に加盟する4校(跡見学園女子大学・城西大学・城西短期大学・日本医療科学大学)の共同事業として「新型コロナウイルスの危機を生きる～正しい知識と対応～」を共通のテーマに公開講座を各大学が実施することになりました。本講座は、日本医療科学大学が主催するものです。

共催：埼玉東上地域大学教育プラットフォーム(TJUP) 後援：毛呂山町